

平成29年1月吉日

## 年頭所感

一般社団法人日本宝石協会  
理事長 伊藤 彰

新年おめでとうございます。健やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は、勉強会を3テーマ（ガーネット・サンゴ・ファンシカラーダイヤモンド）で5回、シンポジウムを東京（宝石命名法）・大阪（コランダムの処理）でそれぞれ1回、開催しました。また、10月にはスリランカ政府宝石局様主催の『スリランカジェムフェスタ東京』を駐日スリランカ大使館様との協力のもと開催出来たことは当協会にとりまして大きな出来事でした。低迷した宝飾品需給のなか海外からの高品質な素材の供給が激減していた日本に海外からの目を再度向けさせるきっかけとなったのではと思います。

本年は、『第2回スリランカジェムフェスタ東京』を7月に開催し、業界が求めるより良い素材をご覧いただけるよう現地業者との連携を密にして実現しようと考えています。

また、英国宝石学協会(Gem-A)認定教育機関として実施しています宝石学教育はその質の高さと業界にて認められる権威から、生徒数はファンデーション・ディプロマ併せて40名近くまで伸びてきており、常に正しい知識と情報が必要とされていることを窺わせます。当協会はこの基礎知識に加え、参加体験型勉強会・シンポジウムを通して一般消費者に信頼される宝石人の育成を推進して参ります。これら活動を通して、宝石のプロとして自信と誇りを持ってお客様に接することにより、提供する宝石の価値、販売する人の価値をより高められると考えます。

1月18日開催の大阪シンポジウムは合成ダイヤモンドをテーマに、皆様と共に合成メレーダイヤの混入問題への対処法等、考えたいと思っております。昨年来、製品への混入が報告され、鑑別機関による看破は出来るものの、私達業者が出来る消費者保護は合成・天然の入替えであること（本来不必要な手間暇と経費）を考えると、手をこまねいてられない問題です。一人でも多くの方にご参加いただき、ご感想・ご意見をお聞かせいただく事が透明性の高い、より良い流通環境を構築してゆく一助となると考えます。

皆様には、私ども日本宝石協会が提供します機会を有効にご活用いただき、本年がさらなる飛躍の年となるようお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。